

■参加申込み：以下の事項を電子メールにてお送りください。

当日の受付も可能ですが、人数把握の都合上できるだけ事前の申込をお願いいたします。

《申込先》：NTT知財センター 石打智美

E-mail: ishiuchi.satomi@lab.ntt.co.jp

====申込みフォーム=====

JSiSE 2009 年度第 4 回研究会に参加します

1. 氏名
2. 所属
3. 電子メールアドレス
4. 懇親会に 参加する ・ 参加しない (一方を残してください)
研究会終了後、懇親会を開催する予定です。会費は 4~5000 円の予定です。

=====

■□■□プログラム□■□■ 1 件 25 分 (発表 17 分, 質疑 8 分)

9:30~9:40 ごあいさつ

9:40~10:05

メタ認知能力向上のための脳波フラクタル次元解析による
バイオフィードバック手法の提案

○西田周平 (長岡技術科学大学)・畑田敏雄 (株式会社ジェック)・中川匡弘 (長岡技術科学大学)

10:05~10:30

WebELS Meeting のインターネットビデオ会議システム

○SRIPRASERTSUK Pao・BERENA Arujulie John・上野晴樹 (国立情報学研究所)

10:30~10:55

クラウドコンピューティング環境に於ける学習者支援の提案

○松本哲 (京都大学 産官学連携センター)

(休憩 10 分)

11:05~11:30

四谷大塚の VOD の立ち上げとその後の受験業界への普及、そしてポスト VOD の立ち上げ

○大塚意生・天田信義・山本正子 (日本メディア教育株式会社)

11:30~11:55

The Growing Problem of Plagiarism

○John Barrie (CEO iParadigms)

11:55~12:20

ブレンデッドラーニングによる英語補習コースにおける学習過程とその効果

○豊川和治 (日本大学)

(昼休み 60 分)

13:20~13:45

Supporting Collaborative Learning with game factor

○呉龍昌 (早稲田大学大学院)

13:45~14:10

エージェントベースによる教員配置の効果に関する研究

○神澤篤啓・山田隆志・吉川厚・寺野隆雄 (東京工業大学大学院)

14:10~14:35

拡張性を有する学習支援システムの LD 規格への適用可能性

○仲林清・森本容介・葉田善章 (放送大学)

14:35~15:00

複数組織により共有化された教材を対象とした分散型の教材配信システム

○杉山秀則・仲林清 (放送大学 ICT 活用・遠隔教育センター)

(休憩 10 分)

15:10~15:35

e ラーニング教材を使った学習成果が企業業績に及ぼす影響

橋本真治 (オートボックスセブン)・○小迫宏行 (ライトワークス)

15:35～16:00

コンピテンシーレベルの情報モデルと内容分析手法

○平田謙次（東洋大学）・Michael Brown (SkillsNET)

16:00～16:25

教育目標設定に向けたコミュニケーション能力のモデル化：基礎機能編

○稲川義浩・平田謙次・上野健司・齊藤光治（東洋大学大学院社会学研究科）

16:25～16:50

e ポートフォリオのデータベース化に伴うトレードオフ問題を解決する

e ポートフォリオ・システムの開発

○森本康彦（東京学芸大学）・喜久川功（富士常葉大学）・

植野真臣（電気通信大学大学院）・横山節雄・宮寺庸造（東京学芸大学）

(休憩 10分)

17:00～17:25

提出課題と学習アクティビティの関係に着目したルーブリックを活用した

セルフアセスメント項目の分析 - 仮想学習環境での問題解決型学習での実装より -

○多賀万里子（熊本大学大学院）

17:25～17:50

「学びのスケッチ」でリフレクションを促す試み

○根本淳子・小山田誠・柴田喜幸・鈴木克明（熊本大学）

17:50～18:15

学習経験の質を左右する要因についてのモデル

○鈴木克明（熊本大学大学院）

18:15～18:20

ごあいさつ

18:30～20:30

懇親会

◆◇◆2009年度 JSiSE 研究会開催予定◆◇◆

開催日時	テーマ	会場	担当
第4回研究会 11月20日(金)	eラーニング環境のデザインとHRD/一般	放送大学	仲林, 石打 松居, 北村
第5回研究会 2010年1月23日(土)	モバイル&ユビキタスラーニングと新しい ユーザ・エクスペリエンス/一般	東北大学	佐々木, 永森 三石
第6回研究会 2010年3月13日(土)	生涯教育と情報教育	畿央大学	松永, 西野 西端

◆◇ 研究報告のお求めは ◇◇

研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、(株)毎日学術フォーラムまで
お申し込みください。1部1,300円(送料共)です。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル2階

TEL : 03-6267-4550 FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp URL : http://maf.mycom.co.jp

なお、JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

この際にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

年間購読料 4,000円 / 年6回発行(送料込)

国際会議のご案内

国際会議のご案内は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介や、インターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、ご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

新着情報：5 件

- ☞ EISTA 2010: The 8th International Conference on Education and Information Systems, Technologies and Applications
 - 開催期間： June 29th - July 2nd, 2010
 - 開催地： Orlando, Florida, USA
 - URL: <http://www.2010iisconferences.org/EISTA>
 - 論文投稿スケジュール：
 - Proposals Due: October 7th, 2009
 - Authors Notified: November 23th, 2009
 - Proceedings File Due: February 3rd, 2010

- ☞ Mobile Learning 2010: IADIS INTERNATIONAL CONFERENCE MOBILE LEARNING 2010
 - 開催期間： 19 to 21 March 2010
 - 開催地： Porto, Portugal
 - URL: <http://www.mlearning-conf.org/>
 - 論文投稿スケジュール：
 - Submission deadline: 30 October 2009
 - Notification to Authors: 27 November 2009
 - Final Camera-Ready Submission: 18 December 2009

- ☞ Global Learn Asia Pacific 2010: Global Conference on Learning and Technology
 - 開催期間： May 17-20, 2010
 - 開催地： Penang (island), Malaysia
 - URL: <http://aace.org/conf/GLearn/>
 - 論文投稿スケジュール：
 - Submissions Due: November 23, 2009
 - Authors Notified: December 22, 2009
 - Proceedings File Due: March 22, 2010

- ☞ ED-MEDIA 2010:
World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia & Telecommunications
 - 開催期間： June 28-July 2, 2010
 - 開催地： Toronto, Canada
 - URL: <http://aace.org/conf/edmedia/>
 - 論文投稿スケジュール：
 - Submissions Due: December 18, 2009
 - Authors Notified: February 9, 2010
 - Proceedings File Due: May 3, 2010

☞UMAP 2010:

18th INTERNATIONAL CONFERENCE ON USER MODELING, ADAPTATION, AND PERSONALIZATION

- 開催期間 : June 20-24, 2010
- 開催地 : Big Island of Hawaii
- URL: <http://www.hawaii.edu/UMAP2010/>
- 論文投稿スケジュール :
 - abstracts: Monday 11 January 2010
 - full papers: Monday 18 January 2010
 - final reviews to authors: Monday 1 March 2010
 - camera-ready version: Monday 15 March 2010

再掲情報 : 3 件

☞WMUTE 2010:

6th IEEE International Conference on Wireless, Mobile & Ubiquitous Technologies in Education

- 開催期間 : April 12-16, 2010
- 開催地 : Kaohsiung, Taiwan
- URL: <http://wmute2010.cl.ncu.edu.tw/>
- 論文投稿スケジュール :
 - Submission Deadline: October 19, 2009

☞DIGITEL 2010:

IEEE 3rd International Conference on Digital Game and Intelligent Toy Enhanced Learning

- 開催期間 : April 12-16, 2010
- 開催地 : Kaohsiung, Taiwan
- URL: <http://digitel2010.cl.ncu.edu.tw/>
- 論文投稿スケジュール :
 - Submission Deadline: October 19, 2009

☞SITE 2010: Society for Information Technology and Teacher Education International Conference

- 開催期間 : March 29-April 2, 2010
- 開催地 : San Diego, CA
- URL: <http://site.aace.org/conf/>
- 論文投稿スケジュール :
 - Proposals Due: Oct. 21, 2009
 - Authors Notified: Dec. 2, 2009
 - Proceedings File Due: Feb. 10, 2010



教育システム情報学会 第34回全国大会終了報告

全国大会実行委員長 渡邊豊英 (名古屋大学)

平成21年8月19日(水)から21日(金)までの3日間、名古屋大学において教育システム情報学会第34回全国大会が開催されました。大会参加者584名、懇親会参加者数221名と、大変盛況な会となりました。また、昨今の経済状況にも関わらず、企業展示23社、書籍展示1社、協賛金出資6社、広告掲載19社と、大変多くの企業の方にもご協力いただくことができました。多くの方に参加いただきましたことを、厚く御礼申し上げます。

大会では、メイン会場での基調講演・特別講演・招待講演・パネル討論・企業セッション、および各会場に分かれての5つのワークショップ・59の企画・一般セッションにおける総計259の講演がなされました。そのうち、大会のプログラム委員・および座長による厳選な審査の結果、8件の講演が大会研究奨励賞を授賞されました。

基調講演では、岡本会長に「非構造化時代の社会・経済様相と人材育成のかたち」というタイトルで、研究のキーワードの動向を、社会・経済状況と絡めてご紹介いただきました。特別講演では、文部科学省高等教育局専門教育課の小谷直和氏に「高等教育行政の現状等について」タイトルにて、最初に日本の大学の現状について触れられ、次に高等専門教育の観点から人材育成について国の政策及びその実地プロジェクトをお話いただきました。最終日に開催されました招待講演では、京都大学福井謙一記念研究センター・リサーチリーダーの大峯巖先生に、「水、水、水、その特異な性質；水のミクロの世界」というタイトルで、水の性質について大変おもしろくご説明いただきました。水の様々な動きをスーパーコンピュータを用いてシミュレーションされた結果を、様々な音楽に乗せて見せていただき、わかりやすいだけでなく、視覚的にも聴覚的にも大変楽しいご講演でした。また、パネル討論では、「実践的課題に基づく技術者教育」というタイトルで、現在拠点大学で進められている人材育成プロジェクトなどについて実施内容と達成結果、及び今後の課題などを議論していただきました。特に、本パネル討論の話題が、大会初日の大学挨拶で名古屋大学の推進プロジェクトの一つとして情報科学研究科の「ITスペシャリスト」を杉山理事が取り上げられたことに始まり、岡本会長の基調講演におけるトピックである人材育成とICTの概要、小谷氏の特別講演での人材育成行政と日本における人材育成推進プロジェクトの狙いという流れがあり、それらを受けて大会終日に本パネル討論が開催されたという結果となりました。一方、一般・企画セッションでは多いところでは100名弱の方が参加され、活発な議論がなされたと聞いております。

本大会では、これまでになかった試みをいくつか実施いたしました。まず、昨年度は昼休みに実施された企業セッションを本大会のプログラムとして組み込みました。大会初日の基調講演の直後に実施された企業セッションでは、17社の企業が参加し、各社が企業内容等を紹介しました。スケジュールがぎりぎりであったため時間の余裕のない進行となってしまいましたが、多くの参加者がおり、企業の方には製品をアピールしていただくよい機会となりました。

大会初日の夕方には、名古屋大学博物館の見学ツアーを実施しました。50名を超える多くの方が参加され、名古屋大学のノーベル賞関連のグッズをはじめ、多くの展示を楽しんでいただきました。展示グッズを介しての会話が、参加者間の懇親に一役買っていたと意見も聞いております。

また、大会の雰囲気タイムリーに味わっていただくために、毎日メイン会場で5分程度、大会のイベント案内をしました。また、メイン会場および休憩室での大会風景のスライドショー、大会Webへの大会風景の掲載、およびリコーITソリューションズ株式会社による講演映像の録画・掲載も実施しました。大会Webの開催報告ページにて、大会風景の閲覧、および大学挨拶・基調講演・招待講演の映像をダウンロードしていただくことができますので、大会に参加できなかった方も是非ご覧ください。

(大会Web : <http://www.is.nagoya-u.ac.jp/jsise09/>)

最後に、本大会の実施にあたり、岡本会長をはじめ理事・評議員の皆様、伊東委員長・前迫副委員長をはじめとする大会企画委員会の皆様、企画セッションを企画運営いただいた竹内委員長・松居副委員長をはじめとする研究会委員会の皆様、ワークショップを企画運営いただいた皆様、パネル討論をオーガナイズいただいた名古屋大学大学院情報科学研究科「OJLによる最先端技術適応能力を持つIT人材育成拠点の形成」の皆様、各セッションの座長の皆様、大会当日ご支援を賜りました学会事務局の皆様、東海支部の皆様、など大変多くの方のご協力をいただきました。大変感謝いたします。

次年度開催されます北海道大学での第35回全国大会がより盛況な会になることを祈念いたしまして、終了報告とさせていただきます。

■ ■ ■ ■ ■ 第34回全国大会研究奨励賞受賞一覧 ■ ■ ■ ■ ■

情報技術の知識の高低を考慮に入れた情報モラル学習教材の提案

梅田恭子（愛知教育大学）・江島徹郎（愛知教育大学）・野崎浩成（愛知教育大学）

eラーニング指向性とグループワーク指向性との関連

富永敦子（早稲田大学大学院）・高崎亜希子（早稲田大学）・向後千春（早稲田大学）

製造工場における認知的徒弟制による業務引継ぎを支援するための評価システム（2）

－評価法の改善－

八木秀文（熊本大学大学院）・鈴木克明（熊本大学大学院）

学校教育におけるネット社会を生きる力の基礎を築く学習の追究

－本名・匿名の二つの立場と情報モラル教育の関連－

戸田和幸（名古屋市立砂田橋小学校）・野崎浩成（愛知教育大学）

GUIを用いた対象世界の操作に基づくアルゴリズム・プログラム学習環境の構築

中原丈晴（静岡大学大学院）・小西達裕（静岡大学）・

小暮悟（静岡大学）・伊東幸宏（静岡大学）

算数の文章題を対象とした作問学習支援システムの実践利用

倉山めぐみ（広島大学大学院）・平嶋宗（広島大学大学院）

統計的学習に基づいた英語短文穴埋問題自動生成システムの評価

後藤拓也（名古屋大学大学院）・小尻智子（名古屋大学大学院）・

渡邊豊英（名古屋大学大学院）・岩田具治（NTTコミュニケーション科学基礎研究所）・

山田武士（NTTコミュニケーション科学基礎研究所）

Automatic Group Formation for Informal Collaborative Learning

Neil RUBENS (University of Electro-Communications) ・

Mikko VILENIUS (University of Electro-Communications) ・

Toshio OKAMOTO (University of Electro-Communications)



■ ■ ■ ■ ■ 2009年度 功労賞受賞 ■ ■ ■ ■ ■

功労賞とは教育システム情報学に関する学会の諸活動に対して、著しい功労のあった会員に贈呈する。

2009年度功労賞受賞者

樋川和伸氏 現)金沢学院大学名誉教授

樋川和伸氏は、昭和39年3月 東京理科大学理学部数学科を卒業し、日本ユニバック(株)入社後、日本ユニバック総合研究所の教育工学部門の研究員として、米国ユニバック社のCAIシステムの普及活動および「教育とコンピュータ」に係わる研究・開発に取り組み、わが国のCAI普及のための基盤作りのための活動を行われました。

同氏は、教育システム情報学会の前身である「CAI学会」が昭和49年8月に設立された時から、様々な活動を行い、学会の基盤作りに貢献されました。

平成8年の第21回全国大会と平成17年の第30回全国大会は、ともに金沢学院大学にて開催して頂き、それぞれ大会事務局長および大会実行委員長として活躍されました。その経験を通して、全国大会実施に関する詳細な手続き、計画書の標準化を試みて頂き、その雛形が今日に至っております。また、2001年度－2005年度まで本学会の理事に就任され、教育システム情報学会編「教育システム情報ハンドブック」の出版に際しては、編集委員の一人として貢献して頂きました。

前身のCAI学会から教育システム情報学会にいたる約30年間「教育へのコンピュータの利用に関する研究・開発活動」に多大なご尽力を賜り、その活動成果と普及活動により学会の知名度をあげる顕著な貢献をして頂きました。

～樋川氏よりコメント～

このたびは学会の功労賞をいただき、多々ご支援をいただきまして厚く御礼申し上げます。加齢になってきましたが、生涯現役の気持ちで、教育工学の分野で活動していきたいと思っています。あらためて御礼を申し上げますとともに、学会の更なるご発展を祈念いたしております。

■ ■ ■ ■ ■ 2009年度 論文賞受賞 ■ ■ ■ ■ ■

論文名：問題演習型eラーニングシステムSANNOKNOWLEDGE FIELD
のSCORM規格への適用と実装 (第25巻3号掲載論文)

著者：松本 馨氏，宮内 浩氏，古賀 暁彦氏
(産業能率大学)

論文名：中学理科におけるError-based Simulationを用いた授業実践
－「ニュートンに挑戦」プロジェクト－ (第25巻2号掲載論文)

著者：今井 功氏，東本 崇仁氏，堀口 知也氏，平嶋 宗氏
(新宿中学，早稲田大学，神戸大学，広島大学)

論文賞について

本年度の表彰対象となった論文は、Vol.24 No.1 (2007年) から、Vol.25 No.4 (2008年) に掲載された2年間の論文【実践論文(実践速報を含む)】です。

第 35 回通常総会開催のご報告

- 日 時：2009年8月20日 13:00～14:00
■会 場：名古屋大学 東山キャンパス（大講義室）

総会開催にあたって、議長の選出が行われ、慣例により岡本会長が選出され、拍手でもって承認された。

- 第1号議案 2008年度活動報告に関する件
第2号議案 2008年度決算報告に関する件
第3号議案 2008年度監査報告に関する件
第4号議案 2009年度活動計画（案）に関する件
第5号議案 2009年度予算（案）に関する件
第6号議案 役員等の改選に関する件
第7号議案 規約改正に関する件

第1号議案 2008年度活動報告に関する件

2008年度の活動について次のとおり報告します。

1. 会員数

	名誉会員	正会員	準会員	企業・ 団体会員	合計
2008年度入会	0	96	48	12	156
2008年度移動	0	5	-5	0	±0
2008年度退会	0	-120	-11	-13	-144
2009年度会員数 2009.3.31現在	1	1343	263	30	1637

2. 運営活動

2.1 第34回通常総会

日時：2008年9月4日
場所：熊本大学

2.2 理事会・評議会

○第123回理事会・評議会

日時：2008年4月5日（土）
場所：銀座会議室1丁目

○追加臨時理事会・評議会

日時：2008年5月10日（土）
場所：銀座会議室1丁目

○第124回理事会・評議会

日時：2008年5月31日（土）
場所：大阪経済大学 E館

○第125回理事会・評議会

日時：2008年8月2日（土）
場所：銀座会議室1丁目

○第126回理事会・評議会

日時：2008年9月4日（土）
場所：熊本大学

○第127回理事会・評議会

日時：2008年9月20日（土）
場所：東京

○第128回理事会・評議会

日時：2008年11月29日（土）
場所：大阪

○第129回理事会・評議会

日時：2009年1月31日（土）
場所：東京

○第130回理事会・評議会

日時：2009年3月28日（土）
場所：東京

3. 事業活動

3. 1 研究会の開催

内 容	担 当	日 時	会 場
第 1 回研究会 eラーニング環境のデザインと HRD (Human Resource Development) / 一般	石打智美 北村士郎 仲林 清 松居辰則	2008 年 5 月 30 日 (金)	メディア教育開 発センター
第 2 回研究会 e-learning の質保証 / 一般	小松川浩 野崎浩成 布施 泉 不破 泰	2008 年 7 月 26 日 (土)	愛知教育大学
第 3 回研究会 ゲーム・シミュレーション, エンタテインメントと教育 / 一般	伊東幸宏 小西達裕 林 敏浩 米澤宣義	2008 年 10 月 4 日 (土)	香川大学
第 4 回研究会 新しいインタラクションを取り入れた 学習支援およびスキル支援 / 一般	小尻智子 柏原昭博 曾我真人 平嶋 宗	2008 年 11 月 14 日 (金)	和歌山大学
第 5 回研究会 新しいデバイスと教育システム / 一般	佐々木整 永森正仁 三石 大	2009 年 1 月 23 日 (金)	八王子学園都市 センター
第 6 回研究会 大学の情報教育 / 一般	松永公廣 西野和典 西端律子	2009 年 3 月 14 日 (土)	長崎大学
特集研究会 eラーニング環境のデザインと実践運用	小西達裕 松居辰則	2009 年 3 月 14 日 (土)	長崎大学

3. 2 委員会活動 他

○学会誌編集委員会

- ・編集・出版業務を国際文献印刷社様に委託することになった。それに伴い、論文投稿システム・査読システムの WEB 化開始し、学会誌体裁を Vol. 25, No. 2 より一新した。
- ・さらに、別刷価格を改定した。
- ・Vol. 25No. 4 を特集号とし、研究会委員会との連携企画で特集号テーマに沿った研究会を論文締め切り前に実施し、論文投稿を呼び掛けた。

○英文誌編集委員会

- ・英文誌 Vol. 7, No. 1 の編集・発行
- ・編集・出版業務を国際文献印刷社様に委託することになった。これに伴い、学会誌体裁を一新。論文投稿システム・査読システムの WEB 化作業を行った。論文投稿システム・査読システムは 2009 年度から運用を開始している。
- ・別刷価格を改定した

○企画委員会

1. Sun SPOT 講習会

内 容：Java 技術の変遷 ～ 誕生から最新動向まで ～ Sun SPOT World
日 時：2008 年 9 月 19 日 (金) 13 時～16 時 30 分
場 所：八王子学園都市センター 第 1 セミナー室
対 象：ワイヤレスセンサーデバイスに興味のある方、Java に興味のある方
主 催：JSiSE 企画委員会
共 催：八王子学園都市大学
協 賛：サン・マイクロシステムズ株式会社・拓殖大学工学部

2. OSS 講演会

内 容：OSP プロジェクトの報告と OSS の教育利用の現状
日 時：2008 年 10 月 10 日（金） 13 時～16 時 30 分
場 所：八王子学園都市センター 第 1 セミナー室
主 催：JSiSE 企画委員会
共 催：八王子学園都市大学
協 賛：株式会社アルファシステムズ・拓植大学工学部

3. セミナー

テーマ：未来の教室
日 時：2008 年 10 月 18 日 13 時～17 時
場 所：大阪大学 吹田キャンパス
主 催：JSiSE 企画委員会・大阪大学・e-kokoro 協議会

4. 講演会

テーマ：中国の教育政策と危機対応
講師：劉 占山 氏（中国領事館（大阪）教育領事）
日 時：2009 年 7 月 30 日 13 時 30 分～15 時
場 所：大阪大学 吹田キャンパス 人間科学研究科
主 催：JSiSE 企画委員会・大阪大学大学院人間科学研究科

○国際化委員会

ITS2008（協賛団体として参加している Intelligent Tutoring Systems）
開催日：2008 年 6 月 23 日～27 日
開催地：Montreal, Canada
上記において Best paper award を実施

○顕彰委員会

2009 年度第 35 回総会にて、功績賞・功労賞の表彰
選考の経緯：功績賞・功労賞選考委員会メンバーの選定（3 月 28 日理事会・評議委員会）
岡本会長，伊東副会長，福原副会長，家本事務局長，大下顕彰委員会委員長，
矢野顕彰委員会副委員長，小松顕彰委員会委員，不破顕彰委員会幹事
選考委員会委員長は大下顕彰委員会委員長

○WWW 委員会

2008 年 6 月に Web サイトとメーリングリストの管理を園田学園女子大学から帝京大学へ移行
Web 管理専用のメール窓口を設置

○渉外・活性化委員会

- ・2009 年 3 月に全国 5 ヶ所で「JSiSE 学生研究発表会」を開催。
総発表件数：60 件 総来場者数：188 名。
 1. 札幌会場：千歳科学技術大学
日 時：2009 年 2 月 6 日（華奈）
発表件数：10 件 来場者数：35 名
 2. 東京会場：電気通信大学
日 時：2009 年 3 月 9 日（月）
発表件数：13 件 来場者数：55 名
 3. 名古屋会場：名古屋大学
日 時：2009 年 3 月 6 日（金）
発表件数：14 件 来場者数：49 名
 4. 岡山会場：岡山理科大学
日 時：2009 年 3 月 11 日（水）
発表件数：11 件 来場者数：26 名
 5. 佐賀会場：佐賀大学
日 時：2009 年 3 月 6 日（金）
発表件数：12 件 来場者数：23 名
- ・夏の全国大会で「企業プレゼンワークショップ」を開催。12 社が発表参加。

○情報教育特別委員会

- ・大学新生に対する教科「情報」知識および意識調査（2007年版）
実施日：2008年4月～5月
場 所：委員が所属する大学および協力大学
内 容：2007年度に実施した高等学校教科「情報」理解度診断テストと同一のテストを、2008年度の新入生にも実施し、2008年度と2007年度の結果を比較して考察する。また、その結果を、全国大会のワークショップで報告し、検討して大学での基礎情報教育の資料とする。
- ・情報教育特別委員会開催
日 時：2008年6月27日
会 場：千里金蘭大学
内 容：全国大会のワークショップについて
テーマを「情報教育指導体制の工夫及び支援体制の構築」とした

○産学連携・人材育成システム委員会

- ・産学連携・人材育成という主旨に沿って、以下のような活動を行った。
 - 1) 企業人事育成担当者向けに、人事育成に関する最先端および、基礎的な話題を提供する。
他学会・組織とのコラボレーションを図る。
 - 2) JSISE 会員(特に学生)向けに、企業における人材開発の目的・内容・重要性などを理解してもらう機会を設け、人材育成開発という職種・ビジネス分野に目を向けてもらう。
 - 3) 大学研究者と教育事業者・企業内教育担当者の技術交流によって、JSISE 会員が行っている研究の産業応用を図る。
 - 4) 大学や教育組織の(e ラーニング)ビジネスモデルや人材育成モデル (FD, SD, など) に関する研究を、海外の成功・失敗事例なども交えながら紹介する。

具体的には、ほぼ月一回のペースで委員会を開催（2008/4/25, 5/19, 6/27, 7/14, 9/4, 10/20, 11/17, 12/15, 2009/1/19, 2/23, 3/17）し、以下のイベントを企画、実施した。

1) 教育システム情報学会 第33回全国大会パネル討論会

主 題： 大学教育と企業の求める人材
実施日： 2008/9/5
場 所： 熊本大学
登壇者： デジタルトウキョー社長・経産省社会人基礎力委員 横山征次氏
(株)人財ラボ社長 下山博志氏
熊本大学教授 大森不二男氏
明治大学教授 阪井和男氏
産業能率大学教授 古賀暁彦氏

2) 教育システム情報学会 産学連携 シンポジウム

主 題： 教育システム研究最前線： いま熱い!! オントロジーと e ポートフォリオ
実施日： 2009/1/23
場 所： キャンパスイノベーションセンター（東京・田町）
／株式会社デジタル・ナレッジ西日本支社（大阪市西区）
（両会場をインターネット接続）
共 催： 熊本大学
協 賛： 日本イーラーニングコンソシアム
講演者・演題：

- ・大阪大学 産業科学研究所 林雄介氏
ID（インストラクショナルデザイン）理論のオントロジー化
－誰でも使える ID 理論の構造化を目指して－
- ・熊本大学 教授システム学専攻教授 中野 裕司 氏
e ポートフォリオへの取り組み
- ・日本女子大学教授 小川賀代 氏
e ポートフォリオを利用した人材育成システム

参加人数：約 50 名

○SNS・新技術創造委員会

- ・第33回全国大会ワークショップを実施
テーマ：SNS的アプローチを利用した教育・学習支援
参加者：65名
8件の発表と活発なディスカッションを行った。
- ・委員会委員の追加
新たに委員を追加（3名）が承認された。
- ・第1回SNS・新技術創造委員会開催
日時：2009年1月22日（13:00～16:00）
会場：電気通信大学
議題：全国大会ワークショップの報告とSNS新技術創造について情報提供や意見交換・議論を行った。
研究会委員会主導のもと2009年度第1回目研究会として、「教育・学習支援におけるSNSの利活用／一般」というテーマで研究会を実施することとした。

○会員獲得戦略委員会

- ・企業・団体会員の会費納入率の向上のための活動実施。
- ・企業・団体会員へのサービス強化のためのウェブサイト活用策の実施。

3. 3 学会誌の発行

○論文誌

- Vol. 25, No. 1 JSiSE2008
- Vol. 25, No. 2 JSiSE2008
- Vol. 25, No. 3 JSiSE2008
- Vol. 25, No. 4 JSiSE2008（特集号）

○英文誌

- Vol. 7 No. 1 JSiSE2008

3. 4 研究報告書の発行

- | | |
|---------------------|---------------------|
| Vol. 23, No. 1 研究報告 | Vol. 23, No. 5 研究報告 |
| Vol. 23, No. 2 研究報告 | Vol. 23, No. 6 研究報告 |
| Vol. 23, No. 3 研究報告 | Vol. 23, No. 7 研究報告 |
| Vol. 23, No. 4 研究報告 | |

3. 5 ニュースレターの発行

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| No. 154 2008年 5月 31日 | No. 157 2008年 11月 30日 |
| No. 155 2008年 7月 31日 | No. 158 2009年 1月 31日 |
| No. 156 2008年 9月 30日 | No. 159 2009年 3月 31日 |

3. 6 全国大会

- 第33回全国大会
開催日時：2008年9月3日（水）～5日（金）
場所：熊本大学

4. 支部活動

4. 1 関西支部

1) 支部評議員会

2008年度関西支部評議員会

実施日：2008年5月31日（土）13:00-15:00

場 所：大阪経済大学 E館 7F 同窓会ホール

議 題：①2008年度事業報告

②2008年度収支決算報告

③会計監査報告

④2009年度事業計画

⑤2009年度予算

⑥規約改定

⑦人事案件

⑧その他

2) 支部研究会

第15回卵RUNフォーラム

実施日：2008年9月2日（火）13:00-17:00

場 所：ホテル熊本テルサ 研修室

3) 学生発表会

第23回学生によるコンピュータ利用研究発表会

実施日：2009年3月7日（土）13:00-17:00

場 所：関西学院大学大阪梅田キャンパス

4) 後援・協賛

(1) 情報コミュニケーション学会 第6回全国大会

日 程：2009年2月28日（土）～3月1日（日）

場 所：園田学園女子大学 30周年記念館

主 催：情報コミュニケーション学会

4. 2 東海支部

1) 2008年度「総会」および「幹事会」の開催

①第1回「幹事会」および2008年度「総会」

日 時：5月17日（土）15:00～15:30

会 場：金城学院大学W9号館W9-408 教室

議 題：1. 教育システム情報学会東海支部会則

2. 教育システム情報学会東海支部役員名簿

3. 2007年度活動報告

4. 2007年度決算報告及び監査報告

5. 2008年度活動計画（案）

6. 2008年度予算（案）

報 告：教育システム情報学会全国大会など

②第2回「幹事会」

日 時：10月4日（土）16:30～

場 所：中部大学技術医療専門学校408教室

議 題：日立製作所との共同研究プロジェクトについて

研究公募の申請先：イノベーション推進事業（NEDO）

③第3回「幹事会」

日 時：12月20日（土）17:00～

会 場：名古屋大学IB館中棟012 講義室

議 題：2009年度JSiSE全国大会について

④第4回「幹事会」開催

日 時：1月24日(土) 16:30～

会 場：名古屋大学IB 電子情報館南棟3F 362 講義室

議 題：支部長・副支部長選挙について

2) 研究会の開催

①第1回研究会

日 時：5月17日(土) 15:30～17:00

場 所：金城学院大学W9号館W9-408 教室

1. 講演者：金城学院大学古寺浩

テーマ：金城学院大学におけるMoodleの教育的利用

2. 講演者：愛知大学谷口正明

テーマ：Officeの自動採点ソフトHITSの紹介

3. 講演者：日立製作所新事業開発本部杉山康彦ほか

テーマ：デジタルペンを利用した義務教育における、教育システム開発プロジェクト

②第2回研究会

日 時：7月7日(月)18:00～20:00

場 所：名城大学(天白キャンパス) タワー75の10階1003 会議室

講演者：(株)日立製作所新事業開発本部杉山康彦

テーマ：「ライフサイエンス」デジタルペンと生体情報(脈拍, 発汗, 脳波など)を活用した教育支援環境の構築 —イノベーション推進事業(NEDO)のヒアリングの結果について—

③第3回研究会

日 時：10月4日(土) 15:00～16:30

場 所：中部大学技術医療専門学校408教室

講演者：磯本征雄先生(岐阜聖徳学園大学)

テーマ：「ライフサイエンス」分野

デジタルペンと生体情報(脈拍, 発汗, 脳波など)を活用した教育支援環境の構築

④第4回研究会

日 時：12月20日(土) 14:00～17:00

場 所：名古屋大学IB 館中棟012 講義室

講演者：大野裕子(愛知教育大学大学院/名古屋市立鳴子台中学校教諭)

テーマ：「自閉性発達障害児の言語指導におけるコンピュータの活用」

3) JSiSE 東海支部が共催・協賛した講演会等

①名古屋大学大学院情報科学研究科学術講演会

日 時：2008年9月16日(火) 16時～17時半

場 所：名古屋大学IB 電子情報館中棟015 講義室

主 催：名古屋大学大学院情報科学研究科

共 催：教育システム情報学会東海支部

講演者：Prof. Dietrich Albert (University of Graz, Austria)

タイトル：The Competence-based Knowledge Space Theory(CbKST),
its Implications and Applications

②情報学ワークショップ2008 WiNF2008

日 時：9月25日(木)～26日(金)

場 所：名古屋大学東山キャンパス(工学研究科新1号館3F 131, 132, 133 講義室)

主 催：名古屋大学大学院情報科学研究科

後援・協賛：教育システム情報学会東海支部ほか

③講演会

日 時：11月18日(火) 15時～16時半

場 所：名古屋大学工学研究科1号館131 講義室

主 催：情報処理学会東海支部

共 催：名古屋大学大学院情報科学研究科, 教育システム情報学会東海支部

講演者：堀浩一(東京大学大学院工学系研究科/先端科学技術研究センター教授)

タイトル：「知識の動的再構成を支援するシステムについて」

- ④第26 回東海ファジィ研究会in 日間賀島（ヒマ研）
日 時：2 月21 日(土) ～ 22 日(日)
場 所：日間賀島公民館（南知多町役場日間賀島サービスセンター）
主 催：日本知能情報ファジィ学会東海支部
協 賛：教育システム情報学会東海支部ほか
講演件数：20 件

4) 支部会員が運営に関わった研究会等

①教育システム情報学会（JSiSE）第2 回研究会

日 時：2008 年7 月26 日（土）
場 所：愛知教育大学第1 共通棟3階3 1 3 教室
テーマ：e-learning の質保証／一般
発表講演件数：16件

②「ICTを活用した教育のための共催セミナー」

日 時：2008 年10月4日(土) 13:30 - 16:30
場 所：名古屋文理大学稲沢キャンパス（N201 教室）
テーマ：「インストラクショナルデザイン入門セミナー」
対 象：大学・短大・専門学校等教職員、中学・高校の教諭、研究者、学生等
講 師：内田実（メディア教育開発センター教授）

③2008 年度JSiSE 学生研究発表会（名古屋会場）

日 時：3月6日(金)
会 場：名古屋大学大学院情報科学研究科棟第1 講義室
主 催：教育システム情報学会渉外・活性化委員会

5) その他

教育システム情報学会第33回全国大会

日 時：9 月3 日～5 日
会 場：熊本大学

4. 3 中国支部

・2008 年度 JSiSE 中国支部総会開催

日 時：2008 年 6 月 28 日（土）13:00～13:20
会 場：岡山理科大学
議 題：

1. 2007 年度活動報告
2. 2007 年度決算報告と監査報告
3. 2008 年度活動方針案と予算案
4. その他

・中国支部研究発表会の開催

日 時：2008 年 6 月 28 日（土） 13:20～17:00
会 場：岡山理科大学
発表件数：13 件
参加者数：26 人

第2号議案 2008年度決算報告に関する件

2008年度の決算を次のように報告いたします。

1. 2008年度収支計算書総括表（自2008年4月1日 至2009年3月31日）

(1) 収入の部 (単位:円)

科目	合計	通常会計	事業会計
1. 入会金	38,000	38,000	—
2. 会費	9,337,115	9,337,115	—
3. 資料販売等	4,581,930	4,581,930	—
4. 広告収入	1,549,684	1,549,684	—
5. 全国大会	5,666,000	—	5,666,000
6. 企画セミナー	0	—	0
7. 雑収入	302,387	302,387	186
当期収入合計 (A)	21,475,302	15,809,116	5,666,186
前年度繰越収支差額	7,951,657	6,042,929	1,908,728
収入合計 (B)	29,426,959	21,852,045	7,574,914

(2) 支出の部 (単位:円)

科目	合計	通常会計	事業会計
1. 印刷費	6,427,845	6,427,845	—
2. 委託費	1,171,960	1,171,960	—
3. 通信費	2,079,024	2,079,024	—
4. 会議費	474,621	474,621	—
5. 旅費	573,660	573,660	—
6. 人件費	3,072,600	3,072,600	—
7. 消耗品費	133,978	133,978	—
8. 支部支援費	632,417	632,417	—
9. 賃借料	1,073,880	1,073,880	—
10. 光熱費	56,646	56,646	—
11. 全国大会	5,666,000	—	5,666,000
12. 企画セミナー	0	—	0
13. 雑費	50,950	50,950	—
14. 予備費	0	0	0
当期支出合計 (C)	21,413,581	15,747,581	5,666,000
当期収支差額(A)-(C)	61,721	61,535	186
次期繰越収支差額(B)-(C)	8,013,378	6,104,464	1,908,914

2. 2008年度収支計算書類（自2008年4月1日 至2009年3月31日）

1) 通常会計収支決算書

(1) 収入の部

(単位：円)

科目	2008年度予算	2008年度決算	増減	備考
1. 入会金	50,000	38,000	△ 12,000	
2. 会費	9,280,000	9,337,115	57,115	
正会員	7,700,000	6,928,315	△ 771,685	
準会員	480,000	458,800	△ 21,200	
企業・団体(維持)会員	1,100,000	1,950,000	850,000	
3. 資料販売等	2,000,000	4,581,930	2,581,930	
研究報告	1,000,000	1,207,300	207,300	
学会誌	1,000,000	274,840	△ 725,160	
別刷収入	0	3,099,790	3,099,790	
4. 広告収入	1,000,000	1,549,684	549,684	
5. 雑収入	100,000	302,387	202,387	複写代・受取利息
当期収入合計(A)	12,430,000	15,809,116	3,379,116	
前年度繰越収支差額	6,042,929	6,042,929	0	
収入合計(B)	18,472,929	21,852,045	3,379,116	

(2) 支出の部

(単位：円)

科目	2008年度予算	2008年度決算	増減	
1. 印刷費	5,150,000	6,427,845	1,277,845	
学会誌	2,500,000	3,953,565	1,453,565	学会誌4回
英文誌	1,000,000	122,850	△ 877,150	英文誌発行なし
別刷印刷費	0	755,580	755,580	
ニューズレター	450,000	324,765	△ 125,235	
研究報告書	800,000	921,795	121,795	
封筒印刷費	300,000	284,130	△ 15,870	
その他印刷費	100,000	65,160	△ 34,840	
2. 編集委員会委託費	1,000,000	1,171,960	171,960	
和文誌	700,000	1,171,960	471,960	
英文誌	300,000	0	△ 300,000	
3. 通信費	1,550,000	2,079,024	529,024	
4. 会議費	500,000	474,621	△ 25,379	
5. 旅費	500,000	573,660	73,660	
6. 人件費	3,000,000	3,072,600	72,600	
7. 消耗品費	200,000	133,978	△ 66,022	
8. 支部支援費	490,000	632,417	142,417	
支部	60,000	80,000	20,000	(内07年度分関西支部20000円)
研究会委員会	180,000	83,639	△ 96,361	(第1回研究会費用なし)
その他支援費	250,000	468,778	218,778	
9. 賃借料	1,000,000	1,073,880	73,880	
10. 光熱費	130,000	56,646	△ 73,354	
11. 雑費	200,000	50,950	△ 149,050	
12. 予備費	200,000	0	△ 200,000	
当期支出合計(C)	13,920,000	15,747,581	1,827,581	
当期収支差額(A)-(C)	△ 1,490,000	61,535	1,551,535	
次期繰越収支差額(B)-(C)	4,552,929	6,104,464	1,551,535	

2) 事業会計収支計算書(自 2008 年 4 月 1 日 至 2009 年 3 月 31 日)

(1) 収入の部

(単位:円)

科目	2008 年度予算	2008 年度決算	増減	備考
1.全国大会	5,000,000	5,666,000	666,000	
2.企画セミナー	0	0	0	
3.雑収入	0	186	186	受取利息 みずほ 事業用 133 円 郵便局 事業定期 53 円
当期収入合計(A)	5,000,000	5,666,186	666,186	
前年度繰越収支差額	1,908,728	1,908,728	0	
収入合計(B)	6,908,728	7,574,914	666,186	

(2) 支出の部

(単位:円)

科目	2008 年度予算	2008 年度決算	増減	備考
1.全国大会	5,000,000	5,666,000	666,000	
2.企画セミナー	0	0	0	
3.予備費	100,000	0	△ 100,000	
当期支出合計(C)	5,100,000	5,666,000	566,000	
当期収支差額(A)-(C)	△ 100,000	186	100,186	
次期繰越収支差額(B)-(C)	1,808,728	1,908,914	100,186	

3. 貸借対照表 (2009 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

【資産の部】		【負債の部】		
普通預金 みずほ銀行 麴町支店 一般用	5,203,476	前受金		426,000
普通預金 池田銀行 上新庄支店 一般用	901,388	未払金		1,147,080
郵便振替 ゆうちょ銀行 019 店 一般用	1,213,825			
普通預金 みずほ銀行 茨木支店 事業用	1,908,861	負債合計		1,573,080
普通預金 みずほ銀行 本郷通支店 前英文事務局用	1,111			
郵便定額(事業積立) 事業用 ゆうちょ銀行	200,053			
郵便定額(基本財産) ゆうちょ銀行	4,237,000			
郵便定額(通常会計(利息分)) ゆうちょ銀行	251,137	別 積 立 金	通常 0 事業 200,000	200,000
現金(基本財産)	205		通常(前期分) 6,042,929 (当期分) 61,535	6,104,464
現金 事務局	106,607	次 期 繰 越 収 支	事業(前期分) 1,908,728 (当期分) 186	1,908,914
			資本合計	12,450,583
資産合計	14,023,663		資本負債合計	14,023,663

4. 計算書類に対する注記

次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	7,951,657	8,013,378
合計	7,951,657	8,013,378

第3号議案 2008年度監査報告に関する件

監 査 報 告

教育システム情報学会
会長 岡本 敏雄 殿

2008年度の教育システム情報学会の事業執行の状況並びに、
2008年度の財務諸表および決算報告について、厳正に監査した結果、
適法かつ妥当であることを確認致しました。

2009年 7月 25日

監 事 伊藤 紘二

同 小荒井 順

第4号議案 2009年度活動計画（案）に関する件

2009年度の活動計画を次のように提案いたします。

1. 運営活動

1. 1 第35回通常総会

日 時：2009年8月20日（木）

場 所：名古屋大学

1. 2 理事会・評議会

○第131回理事会・評議会

日時：2009年5月30日（土）

場所：銀座会議室1丁目

○第132回理事会・評議会

日時：2009年7月25日（土）

場所：大阪経済大学 E館

○第133回理事会・評議会

日時：2009年8月20日（木）

場所：名古屋大学

○第134回理事会・評議会

日時：2009年9月26日（土）

場所：東京

○第135回理事会・評議会

日時：2009年11月28日（土）

場所：東京

○第136回理事会・評議会

日時：2010年1月30日（土）

場所：東京

○第137回理事会・評議会

日時：2010年3月27日（土）

場所：東京

2. 事業活動

2. 1 研究会の開催

内 容	担 当	日 時	会 場
第1回 教育・学習支援における SNS の利活用／一般	柏原昭博 小尻智子 曾我真人 平嶋 宗	2009年5月16日(土)	電気通信大学
第2回 e-learning の実践と学習支援システム／一般	小松川浩 野崎浩成 布施 泉 不破 泰	2009年7月4日(土)	北海道大学
第3回 先進的なアルゴリズム／ プログラミング学習・教育支援システム／一般	伊東幸宏 小西達裕 林 敏浩 米澤宣義	2009年9月28日(月)	静岡大学
第4回 eラーニング環境のデザインと HRD／一般	石打智美 北村士郎 仲林 清 松居辰則	2009年11月20日(金)	早稲田大学 (予定)
第5回 モバイル&ユビキタスラーニングと 新しいユーザ・エクスペリエンス／一般	佐々木整 永森正仁 三石 大	2010年1月23日(土)	東北大学
第6回 生涯教育と情報教育	松永公廣 西野和典 西端律子	2010年3月13日(土)	畿央大学

2. 2 委員会活動 他

○学会誌編集委員会

- ・年間4回発行を継続し、論文採録基準などに関する広報活動を実施することとした。
- ・二重投稿が発生したことを受けて、その対策を英文誌と協調してまとめることとした。
- ・Vol. 27, No. 1を特集号とし、研究会委員会との連携企画で特集号テーマに沿った研究会を論文締め切り前に実施し、論文投稿を呼び掛ける。

○英文誌編集委員会

- ・英文誌Vol. 8, No. 1の編集・発行。

○企画委員会

2009年度は、委員長交代につき、新たな取り組みがなされます

○国際化委員会

国際会議や国際 Workshop の誘致の活動計画を検討する。

○顕彰委員会

功労賞・功績賞の選考について内規に基づき、手続きをすすめる。
2009年度功労賞に、元金沢学院大学教授の樋川和伸氏が推薦され、
理事会・評議委員会(5月30日)において決定した。

○WWW委員会

2008年度に引き続き、学会Webサイトの管理と構築・メーリングリストの管理を行う。

○渉外・活性化委員会

「JSiSE 学生研究発表会」の継続と拡大。

○情報教育特別委員会

- ・2009年度第1回情報教育特別委員会
日 時：7月12日(日)
会 場：千里金蘭大学
- ・2009年度は、主に高等教育における情報教育を対象に研究・調査活動を行い、またシンポジウムなどの企画を実施する。
- ・2009年度は、大学の一般情報教育のカリキュラム、および教育方法を調査する。JSiSEの会員に依頼して、100大学程度の教育課程を入手して分析する。

○産学連携・人材育成システム委員会

- ・2008年度と同様大学研究者と企業人事育成担当者、
および他学会・組織とのコラボレーションを図り、
- ・企業内教育担当者に対する、JSiSE会員の研究のアピール
- ・JSiSE会員に対する、企業・大学における人材育成開発課題の啓発を進める。

上記のテーマにそってイベント(セミナー、シンポジウム、研究会)を年2回程度目標に開催する。

○SNS・新技術創造委員会

- ・SNSをメインテーマとした第1回研究会の開催
- ・昨年度に引き続き、全国大会におけるワークショップの実施
テーマ：「教育・学習を支援するSNS的アプローチの技術と評価」
- ・SNSと学習・教育支援をテーマとしたシンポジウムの企画
- ・学会誌における論文特集・解説特集の企画と提案

○e-learning/CSCLシステム・教育技術委員会

・e-Learning/CSCLシステム・教育技術委員会開催

日 時：2009年7月25日(土) 14:00～15:00

場 所：大阪経済大学

内 容：今後の活動について

・出版計画について

・来年度全国大会WSの企画について

その他

・e-Learning/CSCLシステム・教育技術委員会開催予定

日 時：2009年8月21日12:10～

場 所：名古屋大学

内 容：今後の活動について

・出版計画について

・来年度(2010年度)全国大会WSの企画について

その他

○会員獲得戦略委員会

入会キャンペーンの企画・実施

2. 3 学会誌の発行

○論文誌

Vol. 26, No. 1 JSiSE2009

Vol. 26, No. 2 JSiSE2009

Vol. 26, No. 3 JSiSE2009

Vol. 26, No. 4 JSiSE2009

Vol. 27, No. 1 JSiSE2010 (特集号)

○英文誌

Vol. 8, No. 1 JSiSE2009

2. 4 研究報告書の発行

Vol. 24, No. 1 研究報告

Vol. 24, No. 2 研究報告

Vol. 24, No. 3 研究報告

Vol. 24, No. 4 研究報告

Vol. 24, No. 5 研究報告

Vol. 24, No. 6 研究報告

2. 5 ニュースレターの発行

No. 161 2009年 5月 31日

No. 162 2009年 7月 31日

No. 163 2009年 9月 30日

No. 164 2009年 11月 30日

No. 165 2010年 1月 31日

No. 166 2010年 3月 31日

2. 6 全国大会

第34回全国大会

日 時：2009年8月19日(水)～21日(金)

場 所：名古屋大学

3. 支部活動

3. 1 関西支部

1) 支部評議員会

2009年度関西支部評議員会

実施日：2009年5月30日（土）13:00-13:30

場 所：関西学院大学大阪梅田キャンパス

内 容 ①2008年度事業報告
②2008年度収支決算報告
③2009年度事業計画
④2009年度予算
⑤支部会員確認の件

3. 2 東海支部

1) 2009年度総会および幹事会

第1回「幹事会」および2009年度「総会」

日 時：5月23日（土）15:00～15:30

会 場：名古屋大学東山キャンパスIB 電子情報館南棟362室

議 案：1. 教育システム情報学会東海支部支部長・副支部長選挙
2. 教育システム情報学会東海支部役員名簿
3. 2008年度活動報告
4. 2008年度決算報告及び監査報告
5. 2009年度活動計画（案）
6. 2009年度予算（案）

2) 研究会の開催

5回～6回開催する（開催予定7月、8月、9月、10月、12月）

[第1回研究会]

テーマ：日立製作所との共同研究プロジェクトについて

ハンディキャップを持った子どもの自立支援— デジタル機器の活用（仮）

講演者：日立製作所杉山康彦ほか（予定）

3) 日立製作所との共同研究プロジェクトについて

プロジェクトへの取り組み方については、以下のような方法が考えられる。

- 1) 東海支部，日立製作所，教育委員会の三者が連携をして，事業に申請を行う。
- 2) 支部会員の中から，プロジェクトの共同研究者を広く募る。
- 3) プロジェクトについて検討する作業部会（ワーキンググループ）を組織する。

4) その他

①JSiSE 第2回研究会日時：7月4日（土） 会場：北海道大学

②教育システム情報学会第34回全国大会

日時：8月19日(水) - 21日(金) 会場：名古屋大学

③全国大会の幹事会9月5日

④全国大会の実行委員会10月17日

⑤学生研究発表会3月(支部研究会との連動)

⑥ET 研やJSiSE 全国大会での発表などに続けられる展開を考える。

⑦JSiSE 全国大会のワークショップへの取り組み

⑧電気関係学会東海支部連合大会への加盟は(分担金が必要だが)

3.3 中国支部

・2009年度 JSiSE 中国支部総会開催

日時：2009年6月27日(土) 13:00-13:20

会場：広島大学

議題：1. 2008年度活動報告

2. 2008年度決算と監査報告

3. 2009年度活動方針案と予算案

4. その他

・2009年度 JSiSE 中国支部研究発表会

日時：2009年6月27日(土) 13:30-17:10

会場：広島大学

発表件数：10件

参加者数：39名

・2009年度 JSiSE 中国支部学生発表会

日時：3月

会場：広島市立大学

詳細：未定

第5号議案 2009年度収支予算(案)に関する件

2009年度の収支予算を次のとおり提案します。

1. 2009年度収支予算書総括表(自2009年4月1日至2010年3月31日)

(1) 収入の部

(単位:円)

科目	合計	通常会計	事業会計
1. 入会金	50,000	50,000	—
2. 会費	9,950,000	9,950,000	—
3. 資料販売等	4,700,000	4,700,000	—
4. 広告収入	1,000,000	1,000,000	—
5. 全国大会	5,000,000	—	5,000,000
6. 企画セミナー	0	—	0
7. 雑収入	100,000	100,000	0
当期収入合計(A)	20,800,000	15,800,000	5,000,000
前年度繰越収支差額	8,013,378	6,104,464	1,908,914
収入合計(B)	28,813,378	21,904,464	6,908,914

(2) 支出の部

(単位:円)

科目	合計	通常会計	事業会計
1. 印刷費	6,730,000	6,730,000	—
2. 委託費	1,100,000	1,100,000	—
3. 通信費	2,100,000	2,100,000	—
4. 会議費	500,000	500,000	—
5. 旅費	500,000	500,000	—
6. 人件費	3,000,000	3,000,000	—
7. 消耗品費	150,000	150,000	—
8. 支部支援費	640,000	640,000	—
9. 賃借料	1,100,000	1,100,000	—
10. 光熱費	60,000	60,000	—
11. 全国大会	5,000,000	—	5,000,000
12. 企画セミナー	0	—	0
13. 雑費	200,000	200,000	—
14. 予備費	300,000	200,000	100,000
当期支出合計(C)	21,380,000	16,280,000	5,100,000
当期収支差額(A)-(C)	△ 580,000	△ 480,000	△ 100,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	7,433,378	5,624,464	1,808,914

2. 2009 年度収支予算書 (自 2009 年 4 月 1 日 至 2010 年 3 月 31 日)

1) 通常会計収支予算書

(1) 収入の部

(単位:円)

科目	2008 年度予算	2009 年度予算	増減	備考
1. 入会金	50,000	50,000	0	
2. 会費	9,280,000	9,950,000	670,000	
正会員	7,700,000	7,700,000	0	@7,000×1,100 名
準会員	480,000	500,000	20,000	@4,000×125 名
企業・団体(維持)会員	1,100,000	1,750,000	650,000	@50,000×35 社
3. 資料販売等	2,000,000	4,700,000	2,700,000	
研究報告	1,000,000	1,200,000	200,000	
学会誌	1,000,000	300,000	△ 700,000	
別刷収入	0	3,200,000	3,200,000	
4. 広告収入	1,000,000	1,000,000	0	
5. 雑収入	100,000	100,000	0	著作権収入など
当期収入合計(A)	12,430,000	15,800,000	3,370,000	
前年度繰越収支差額	6,042,929	6,104,464	61,535	
収入合計(B)	18,472,929	21,904,464	3,431,535	

(2) 支出の部

(単位:円)

科目	2008 年度予算	2009 年度予算	増減	
1. 印刷費	5,150,000	6,730,000	1,580,000	
学会誌	2,500,000	2,800,000	300,000	学会誌 4 回
英文誌	1,000,000	1,400,000	400,000	英文誌 2 回
別刷印刷費	0	800,000	800,000	
ニューズレター	450,000	330,000	△ 120,000	
研究報告書	800,000	1,000,000	200,000	
封筒印刷費	300,000	300,000	0	
その他印刷費	100,000	100,000	0	
2. 編集委員会委託費	1,000,000	1,100,000	100,000	
和文誌	700,000	800,000	100,000	
英文誌	300,000	300,000	0	
3. 通信費	1,550,000	2,100,000	550,000	
4. 会議費	500,000	500,000	0	
5. 旅費	500,000	500,000	0	
6. 人件費	3,000,000	3,000,000	0	
7. 消耗品費	200,000	150,000	△ 50,000	
8. 支援費	490,000	640,000	150,000	
支部	60,000	60,000	0	
研究会委員会	180,000	180,000	0	
その他支援費	250,000	400,000	150,000	
9. 賃借料	1,000,000	1,100,000	100,000	
10. 光熱費	130,000	60,000	△ 70,000	
11. 雑費	200,000	200,000	0	
12. 予備費	200,000	200,000	0	
当期支出合計(C)	13,920,000	16,280,000	2,360,000	
当期収支差額(A)-(C)	△ 1,490,000	△ 480,000	1,010,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	4,552,929	5,624,464	1,071,535	

2) 事業会計収支予算書

(1) 収入の部

(単位:円)

科目	2008 年度予算	2009 年度予算	増減	備考
1.全国大会	5,000,000	5,000,000	0	
2.企画セミナー	0	0	0	
3.雑収入	0	0	0	
当期収入合計(A)	5,000,000	5,000,000	0	
前年度繰越収支差額	1,908,728	1,908,914	186	
収入合計(B)	6,908,728	6,908,914	186	

(2) 支出の部

(単位:円)

科目	2008 年度予算	2009 年度予算	増減	備考
1.全国大会	5,000,000	5,000,000	0	
2.企画セミナー	0	0	0	
3.予備費	100,000	100,000	0	
当期支出合計(C)	5,100,000	5,100,000	0	
当期収支差額(A)-(C)	△ 100,000	△ 100,000	0	
次期繰越収支差額(B)-(C)	1,808,728	1,808,914	186	

第 6 号議案 役員等の改選に関する件 (※改選結果は、次ページに掲載)

選挙結果から会長候補として、

岡本敏雄 (電気通信大学)

平成 21 年 8 月 20 日から平成 23 年通常総会日まで

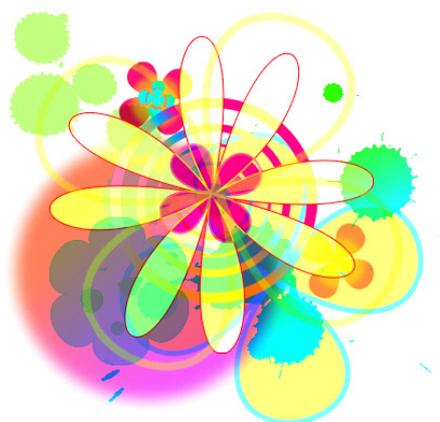
第 7 号議案 規約改正に関する件

学会規約が一部改正。

改正後	改正前
<p>第 24 条 役員および評議員に欠員の生じた場合は 会長が推選した者を理事会の議決を経て 補充することが出来る。</p> <p>2 上記で補充された役員および評議員の 任期は、前任者の残任期間とする。</p>	<p>第 24 条 役員および評議員に欠員の生じた場合は 次点者から補充し、次点者がいない場合は 補充選挙を行う。</p> <p>2 補欠による役員および評議員の任期は、 前任者の残任期間とする。</p>

☆☆☆ 2009年 役員・評議員改選選挙結果 ☆☆☆

区分	氏名	勤務先	区分	氏名	勤務先
理事	岡本敏雄	電気通信大学	評議員	小荒井順	(財)能力開発工学センター
	伊東幸宏	静岡大学		役 誠雄	富士通 (株)
	家本 修	大阪経済大学		中村直人	千葉工業大学
	小松秀圀	NTT ラーニングシステムズ(株)		西野和典	九州工業大学
	竹内 章	九州工業大学		中條道夫	関西学院大学
	対馬勝英	大阪電気通信大学		平田謙次	東洋大学
	平嶋 宗	広島大学		松原行宏	広島市立大学
	吉田 覚	日本データパシフィック (株)		清水康敬	東京工業大学
	松居辰則	早稲田大学		小尻智子	名古屋大学
	鈴木克明	熊本大学		佐々木整	拓殖大学
	本田敏明	茨城大学		香山瑞恵	信州大学
	渡辺博芳	帝京大学		西端律子	幾央大学
	柏原昭博	電気通信大学		梅田恭子	愛知教育大学
	小松川浩	千歳科学技術大学		林 敏浩	香川大学
	不破 泰	信州大学		夜久竹夫	日本大学
渡辺豊英	名古屋大学	梶田将司	名古屋大学		
			岡部成玄	北海道大学	



新入会員の紹介

☆新入会員☆ (敬称略)

2009.9.31 現在

会員番号	氏名	所属機関	推薦者	会員種別
JSiSE-A0902929	植村明生	文教大学		正会員
JSiSE-A0902930	梅田 泉	熊本大学		正会員
JSiSE-A0902931	大河雄一	東北大学大学院		正会員
JSiSE-A0902932	佐伯徳秀	名工学園 名古屋工業高等学校		正会員
JSiSE-A0902933	松田 忍	三育学院大学 短期大学		正会員
JSiSE-A0902934	角田雅照	奈良先端科学技術大学院大学		正会員
JSiSE-A0902935	大平茂輝	名古屋大学		正会員
JSiSE-A0902936	木村哲夫	新潟青陵大学		正会員
JSiSE-A0902937	永井 孝	信州大学大学院	香山瑞恵	準会員
JSiSE-A0902938	黒崎茂樹	関西学院大学		正会員
JSiSE-A0902939	古俣升雄	東京工業大学		正会員
JSiSE-A0902940	長谷川理	千歳科学技術大学		準会員
JSiSE-A0902941	奥野浩之	大手前大学		正会員
JSiSE-A0902942	千種康民	東京工科大学		正会員
JSiSE-A0902943	金岡健史	和歌山大学		準会員
JSiSE-A0902944	川島芳昭	宇都宮大学		正会員
JSiSE-A0902945	森下 孟	信州大学大学院		準会員
JSiSE-A0902946	長谷川春生	新潟市立五十嵐小学校		準会員
		合 計	正会員 13	準会員 5

☆新入会 企業・団体会員☆ (敬称略)

2009.9.31 現在

会員番号	所属機関	代表者氏名	担当者氏名	推薦者
JSiSE-IA090105	株式会社アイ・ジャパン	CarterKeltner	吉野結花	
登録会員	JSiSE-A0902947	笠間和喜		
	JSiSE-A0902948	吉野結花		

新 入 会 員 募 集

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

入会をご希望の方は、入会申込書は学会 WEB ページに掲載しておりますので (PDF ファイル) ダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、学会事務局にご郵送または、FAX にてお送りいただきますようお願いいたします。

☆☆☆事務局より☆☆☆

2009年度年会費の納付期限は9月末とさせて頂いておりました。期日を過ぎましても随時受け付けておりますので、未納の会員様は事務局までご連絡をお願い致します。

また、2008年度以前の年会費をご納付いただけていない学会員様は、至急ご入金頂きますようお願い致します。未納が続きますと、ご入金を確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。詳しくは、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

E-mail : secretariat@jsise.org

◎振込先◎

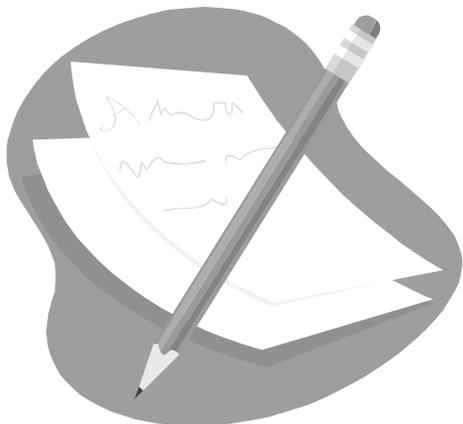
■銀行名：ゆうちょ銀行	■銀行名：池田銀行
■支店名：019店	■支店名：上新庄支店（222）
■当座預金：0709632 ※00180-6-709632	■普通預金：13440
■口座名義：教育システム情報学会	■口座名義：教育システム情報学会 家本修

・登録いただいております内容に変更がございましたら、事務局まで、ご連絡ください。
ご連絡が無い場合、学会発送物がお届けできない場合がございます。



～年会費のご案内～

- 正会員：7,000円 ■準会員：4,000円
- 企業・団体会員：50,000円
- 研究報告年間購読：4,000円
- 入会金：1,000円（初年度のみ）



■学会事務局■

〒533-000

大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25 パティオ白川101

教育システム情報学会事務局 宛

TEL 06-6324-7767 FAX 06-6324-7767

E-mail : secretariat@jsise.org